

ステップ 経過日(※1)	やってあげることと観察	ハムスターの行動と心理			ハムスターの信頼を得るための関わり方
		行動	心理	飼い主への気持ち	

ハムスターの飼い方【迎えたハムスターを『巣穴』に直接入れる方法】の場合は、迎える準備が出来たら、ステップ5に進んでください。『仮の家』は使用しません。

1	事前準備	飼育環境を整えましょう				
2	ハムスターを『仮の家』に迎えます 迎えて1日目	迎えたハムスターの小箱を『仮の家』の入り口に向けておくだけです。ハムスターが自分の意志で『仮の家』に入ります。入ったら、小箱を撤去します。	人がいれば出てきません。夜に出てきて行動します。『仮の家』の中に生活基盤を作ります。	不安・恐怖・怯えで強いストレスの中に居ます。	皆さんが優しい心で迎えていることを、皆さんの優しい気持ちを、ハムスターは知る由もありません。これからどうなるのか？全く理解できていませんから、不安・恐怖・怯えでいっぱいです。この時の皆さんは、自分を食べるかもしれない恐怖の対象でしかありません。	仲良くなるには、関わり始めの「時」が重要です。ステップ10まではハムスターに一切関わらないでください。
3	【地上の環境】に慣れさせます 迎えて1～2日目	食べ物、巣材は十分な量を入れておいてください。食べ物が豊富にあるということが【地上の環境】を受け入れる絶対条件になります。(※2)	強く警戒しながら、食べ物がある・巣材がある・水があるなど生きるために必要なものがあることを確認します。隠れて、じっと外の様子をうかがっている時期です。	生きるために必要な最低の条件が整っている環境を認識します。		ご飯だヨ～などの声出しや、飼い主の生活音(足音やテレビや掃除機などの音)を聞かせ体験させます。
4	『地下型の巣箱』のトイレ室の準備をします 迎えて2～3日目	『地下型の巣箱』の中のトイレの準備をします。ハムスターのにおいの付いたものは、『仮の家』の後ろを壊して中の巣材を使います。	『仮の家』の中で『巣穴』の三大習性』の行動を起こそうとします。	『仮の家』が安全であることを認識して、少し和らぎます。	飼い主という認識はまだありません。声や音や臭いなどから脅威のレベルを測っています。	ハムスターが出てきても無視しましょう。ここで関わると、飼い主を脅威・怖い存在として学習されてしまう場合があります。

ハムスターの飼い方【迎えたハムスターを『巣穴』に直接入れる方法】の場合は、ハムスターを巣穴に直接入れてください。

5	『地下型の巣箱』を与えます 入った当日(※3)	『地下型の巣箱』を与えます。『仮の家』に居る場合には、ハムスターが自分から入るのを待ちます(感動シーンが観察できる場合があります)。巣穴に入ったら『仮の家』を撤去(※4)します。直接入れる方法の場合は、巣穴にそのまま入れます。	『地下型の巣箱』の巣穴を見つけて、大喜びで中に入ります。『地下型の巣箱』の中をチェックします。	巣穴に入ったということが、【本能と習性】の心を満たします。	外にいる人間が危険ではなさそうだと、自分を食べるような敵ではないということ、この頃から学び始めます。	この時に関わると、バリケードを作ったり、マーキングをします。手に取ったり触ったりのコミュニケーションは無しです。
6	寝床を作ったことを確認します 入った当日～2日目	巣材を補充してください。特に冬季は品切れ厳禁です。寝床を作ったことを確認します	『地下型の巣箱』の中の女王が確認できると、すぐに、『巣穴の三大習性』の行動を起こします。まず、巣材を持ち込んで寝室を決めそこに寝床を作り、安眠・熟睡します	家作りの【本能と習性】がフル回転しています。安眠・熟睡できることでストレスが解消されます。	気持ちは家作りという【本能と習性】に支配されています。飼い主に気持ちを向ける心の余裕は全くありません。	『透明な観察板』(※5)越しの観察を始めます。観察の始め方は、最初は、『遮光布』をちょっとだけ短時間めくって、光が入っても(のぞかれても)危険はないということをハムスターに学習させます。徐々に観察の回数・範囲・時間を広げていきます。ハムスターが反応しても、『透明な観察板』越しのコミュニケーションは厳禁です。時に、ハムスターがイヤイヤの動作(手を横に動かす)をしたら、時間の掛け過ぎですので即時に観察を中止します。
7	貯蔵室を決めたことを確認します 入った当日～2日目	食べ物をいろいろ用意して、ハムスターの好みを確認し、好きな食べ物を品切れしないように補給してください。貯蔵を始めたことを確認します。好みは季節などによって大きく変わります。食べ物と同じように、巣材も品切れしないように注意してください。	巣材と一緒に、食べ物を大量に『地下型の巣箱』の中に貯蔵し始めます。	『巣穴の三大習性』の行動ができていることで、ハムスターの気持ちは安定してきます。		
8	トイレ室を決めたことを確認します		順調な場合は、ステップ6・7・8は一気に進む場合があります。			

	入った当日～2日目		いです。			
9	『地下型の巣箱』の中のトイレ室の掃除を始めます 入って1週間以降	【ハムスターの様子を見ながら、ゆっくり少しずつが成功の秘訣です】トイレ室の掃除は7日後から始めます。初期には、オシッコの跡に『砂っ固』を被せるだけにし、濡れた『砂っ固』の回収は慣れてからにします。この時にハムスターの行動に拒否反応が見られたら、『地下型の巣箱』の中に入るのは最低2晩は控えてください。拒否反応は、他の部屋にオシッコをした、トイレ室を変えた、バリケードを作った、などです。この時期は、少しの変化でも、自分の家に敵が入ったと感じて反応する場合があります。初めは少しずつ、次第に規模を広げてください。	『巣穴の三大習性』の行動が実現できて、安眠・熟睡することができるようになります。	ほぼストレスが消えて、心理的に安定します。	飼い主の行動を意識するようになります。この頃から巣穴の周りに強い縄張り意識を持つようになります。	この頃から、人がいても姿を見せるようになります。じっと見つめるだけでも、自分を獲物として狙う敵を思わせてしまいます。《さりげなく》が仲良くなる秘訣です。
10	自分の家の認識を持ったことを確認します 入って1週間以降		自分の家の管理が始まります。一通り落ち着くと、部屋の配置換えが始まります。	自分の家ができたことを自覚し認識して、落ち着きます。	心に余裕ができ、ハムスター特有の好奇心が湧き出てきます。	ハムスターとの関わりの初めには、警戒心の中に新たに生まれた縄張り意識も理解してあげる必要があります。詳しくは《仲良くなりましょう》を参照してください。
11	ハムスターと仲良くなる準備を始めます 入って1週間以降	ハムスターと仲良くなる準備を始めましょう。オヤツ作戦はとても効果があります。	飼い主が居ても巣穴に逃げ込まなくなります。不用意に触るなど、驚かせたりしない限り、噛むようなことはありません。	健康な生活ができるように、ストレスが無くなり、心理も安定します。	ここでやっと飼い主に好奇心を向けます	ここからいよいよ、楽しいコミュニケーションの始まりです。ただしハムスターのペースで進めてください。
12	楽しいコミュニケーションは手のひらの上で およそ2週間以降	巣穴から出てきたら、手のひらに載せてあげて、オヤツを上げるなど、飼い主が優しいことを学習させてあげます。	呼べば巣穴から出てくるようになります。	安全に対する安心感と、心の余裕に幅ができます。飼い主の行動に対しても、多少のことには驚かなくなります。		ハムスターのペースで、焦らずゆっくりと仲良くなってください。初心者の方は特にゆっくりが仲良くなれる秘訣です。

※1 経過日数は目安です。遅れても焦らずにハムスターのペースに合わせてください。

※2 環境に食べ物が少ないことを知ると、食べ物がある場所を求めて、脱走します。脱走できなければストレスが鬱積します。

※3 『仮の家』に居る場合は、数日間は巣穴に入らない場合があります。

※4 『仮の家』の使用期限は、夏は4日間。冬は6日間です。

※5 ハムスターが中に居る時には、『透明な観察板』を絶対に開けないでください。

●ステップは ハムスターの飼い方《仮の家から始める方法》に添っています。ステップ5以降は《巣穴に直接入れる方法》と共通です。

●詳しくは、コンテンツ《ホームページの全目次》の中の各項目をご参照ください。